



レスポンシブル・ケア マネジメント

基本的な考え方

レスポンシブル・ケア (RC) とは、化学製品の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄に至るライフサイクルにおいて、「安全・環境・健康」を確保すること、製造する化学製品の品質の維持・向上を図ること、そしてこれからの活動について、対話を進めることで社会からの信頼を深めていくことを目指す、化学産業の事業者による自主的な取り組みです。

住友化学グループは、レスポンシブル・ケア活動を経営の最も重要な柱の1つと位置づけ、「安全をすべてに優先させる」基本理念の下、「労働安全衛生・保安防災」、「環境保全・気候変動対応」、「製品責任・プロダクトステewardシップ」、「レスポンシブル・ケア監査」、「物流」の分野ごとに目標を設定し、グループ一体となって、その達成に向けて取り組んでいます。

安全、環境、品質に関する基本方針

住友化学は、事業活動のあらゆる段階において安全・環境・品質に関して最優先に取り組む事項を「安全、環境、品質に関する基本方針」として定め、当社の事業運営の基盤とするとともに、グループ会社にもこの方針を伝え、住友化学グループ全体に周知徹底を図っています。

当社は、住友の事業精神にのっとり、人類生存の基盤を支え、社会の発展に幅広く貢献する製品を開発、生産、供給することを使命とし、「安全をすべてに優先させる」ことを基本に、「無事故無災害」、「顧客重視」、「社会との共存共栄」を経営の基本理念として活動している。

この理念に基づいて、当社は研究開発、生産、物流、販売など事業活動のあらゆる段階において、安全、環境、品質に関し以下の事項を最優先事項として取り組む。

- (1) 無事故・無災害の操業を続け、従業員と地域社会の安全を確保する。
- (2) 原料、中間品、製品の安全性を確認し、従業員、物流関係者、顧客、一般消費者などの関係する人々への健康障害を防止する。
- (3) 顧客が満足しかつ安心して使用できる品質の製品とサービスを提供する。
- (4) 製品の開発から廃棄に至るまで製品の全生涯にわたり、環境負荷の評価と低減を行い、環境保護に努める。

全部門、全従業員はこの方針の重要性を認識し、法令および規格を遵守することはもとより、常に改善に努められたい。

改訂2005年11月1日(制定1994年4月)

レスポンシブル・ケア活動方針

住友化学は、レスポンシブル・ケア活動において重点的に取り組むべき事項を「レスポンシブル・ケア活動方針」として定め、全社各事業所ならびに各グループ会社で毎年度策定する具体的な活動目標や計画に反映させています。

当社は「住友化学企業行動憲章」及び「安全、環境、品質に関する基本方針」に従って、住友化学グループ全体でレスポンシブル・ケア活動を積極的に取り組むことにより、社会の信頼を得て、事業活動を推進し、社会の持続可能な発展に貢献する。

- (1) 無事故、無災害の達成による安全・安定操業を確保する。
- (2) 開発、製造、物流、使用、廃棄の全ライフサイクルにわたりリスク管理を行い、従業員、物流関係者、顧客、一般消費者などの関係する人々と地域社会の安全を確保するとともに、環境の保全につとめる。
- (3) 安全で環境負荷の小さな製品及び製造プロセスの開発につとめる。
- (4) 省資源、省エネルギー及び廃棄物の削減を推進し、環境負荷の低減につとめる。
- (5) 安全、環境、品質に関する国内外の法令・規準を遵守することはもとより、自主的な取り組みにより一層の改善につとめる。
- (6) 安全、環境、品質に関わる必要な教育・訓練を実施する。
- (7) 社会の関心と期待に応え、説明責任を果たすため、レスポンシブル・ケア活動に係る情報の公表と対話を行う。
- (8) レスポンシブル・ケア監査及び第三者による検証を通じて、継続的改善を図る。
- (9) グループ会社、協力会社のレスポンシブル・ケア活動への支援を行うとともに、国内外の活動の強化に向けた取り組みに協力する。

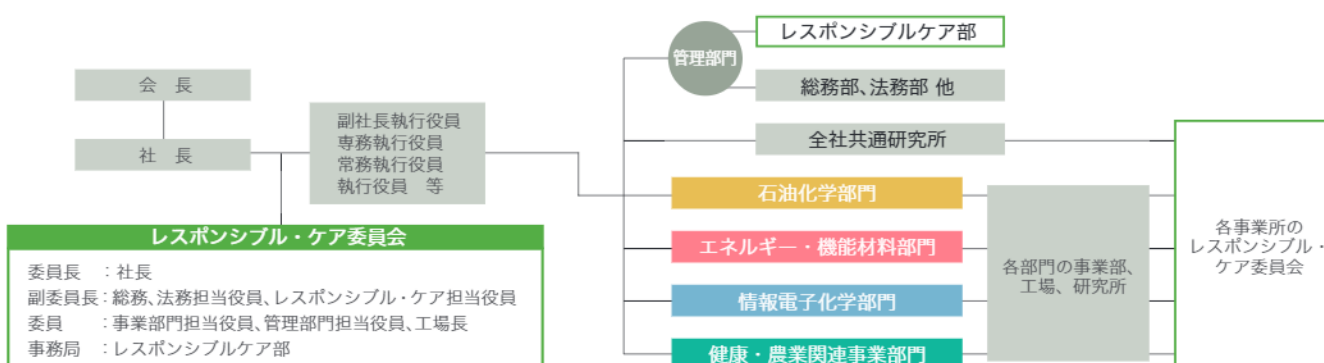
改訂2013年7月15日(制定1995年1月)

レスポンスブル・ケア マネジメント

レスポンスブル・ケア活動体制

住友化学のレスポンスブル・ケア活動は、「労働安全衛生・保安防災」「環境保全・気候変動対応」「製品責任・プロダクトステewardシップ」「レスポンスブル・ケア監査」「物流」の分野に分類されます。本活動の最上位の審議・承認機関である「レスポンスブル・ケア委員会」は、レスポンスブル・ケア委員長(社長)のもとに、社内の4事業部門および管理部門の統括・担当役員ならびに各工場の工場長により構成されており、年度方針や中期計画、具体的施策の策定や、実績に関する分析および評価などを行っています。

レスポンスブル・ケア体制



住友化学レスポンスブル・ケア中期計画の推進

| | 中期計画 (2016-2018年度) |
|----------------------|--|
| 労働安全衛生 | 住友化学グループ遵守事項徹底による、当社グループ全体の安全文化向上 |
| 保安防災 | プロセス危険性評価のレベルアップおよび安全対策の推進による保安力強化 |
| 環境保全 | 法規制等への的確な対応と新規環境規制動向へのプロアクティブな対応 |
| 気候変動対応 | CO ₂ ・エネルギー原単位の改善推進 気候変動対応等に資する製品等の社内認定制度の確立、およびその開発・普及の推進 |
| 製品責任・プロダクトステewardシップ | グループ会社を含めた、製品安全上のリスク評価の推進および化学品総合管理システム(SuCCCESS)の積極的活用による自主管理のさらなる推進 |
| レスポンスブル・ケア監査 | レスポンスブル・ケア監査領域の拡大によるリスクの低減 |
| 物流 | 物流安全品質事故の削減 |

(注) 各分野の重点活動は、次章以降の詳細ページに掲載

住友化学グループ一体となったレスポンスブル・ケア活動の推進

住友化学では、レスポンスブル・ケアに関する方針・目標などを住友化学グループ全体で共有し、グループ一体となった活動を推進して、各分野で高いパフォーマンスを挙げることを目指しています。そのために、当社グループにおける具体的な要求事項を定めた「グループ業務標準」を2010年に制定し、適切なタイミングで見直しをしながら運用しています。また、グループ会社が業務標準への理解をより深められるよう「レスポンスブル・ケアマネジメントの手引き」を作成しています。2015年からは、欧州・米国・中国などの地域統括会社にレスポンスブル・ケア専任者を配置し、各地域に根ざしたレスポンスブル・ケア活動を展開できるようになりました。グループをあげて安全、環境、品質の確保および維持・改善を図ることにより、当社グループの事業活動に対する社会からの理解と信頼が継続して得られるよう活動を推進しています。



レスポンスブル・ケア マネジメント

さらに2016年からは、グループ全拠点における安全確保の取り組みとして、グループ共通の「安全グラウンドルール」を定め、全グループ従業員へ周知し、労働災害撲滅に取り組むとともにグループ全体の安全活動の一層のレベルアップを図っています。そして、国内外のグループ会社のレスポンスブル・ケア担当者が参加するグローバルミーティングや、各生産拠点での研修や訓練を通じて、当社グループの安全を担う人づくりを継続して行っています。

また、グループ会社の活動を支援するために、部内にグローバルマネジメントチームを設けています。定期的なFace to Faceでの会議開催、グループ内の事故・災害事例を速やかに共有し、類似災害の防止を図るための情報やトピックスを発信するニュースレターの発行、グループ会社の優れた活動の表彰 (RC Award) などのさまざまな取り組みを推進しています。

国際的な業界活動を通じた取り組み

「パリ協定」により世界で合意を得た2°C目標に代表される気候変動問題への対応、循環型社会の形成、生物多様性への配慮など、地球規模の課題が山積する中で、サステナブルな社会の実現に向け、化学企業の国際的な連携がますます重要になってきています。当社はICCA^{※1}、WBCSD^{※2}等と連携し、これら課題の解決に正面から向き合い、世界に向けた実効性のある提言発信にも積極的に努めています。

当社が参画しているICCAの活動では、「エネルギー・気候変動」、「化学品政策と健康」等の作業部会を通じ、検討成果を取りまとめたレポート作成や調査実施、製品管理手法の普及活動などに協力しています。具体的には、気候変動政策に関するICCAの見解の取りまとめに協力し、その成果は2015年12月にパリで開催されたCOP21のサイドイベントなどで報告されました。

また「化学品政策と健康」のタスクフォースに参加しており、世界各地における製品中の含有化学物質の情報伝達の仕組みに関する調査、アジア諸国を中心とした参加各国におけるプロダクトスチュワードシップの普及に協力しています。

さらにWBCSDにおける「化学セクター分科会」への参画を通じ、サステナビリティ推進を目指した制度構築の検討に協力しています。

※1 ICCA(International Council of Chemical Associations) : 世界各国の化学工業協会・連盟間の対話と協力を通じて、化学産業界の戦略について各国協会間の調整を図るために設立された団体。会員に共通する重点課題および化学産業界の諸活動に関して、国際機関等へ化学産業界の代表として提言を行っている

※2 WBCSD(World Business Council for Sustainable Development) : 経済界からの「持続可能な開発」についての見解を提言するために設立された団体。ダボス会議、ビジネス20 (B20)、国連気候変動枠組条約締約国会議 (Conference of the Parties - UN Framework Convention on Climate Change : COP) 等の国際会議において提言を行っている